

事業所名

児童発達支援センター スイスイなかま

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7

年

3

月

28

日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりに寄り添い、発達段階に応じた支援を行う。 子どもたちが安心して自己表現できる環境を整えながら、子どもたちの可能性を最大限に引き出す。 								
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 個別支援計画の作成 子どもの発達段階や特性を理解し、それぞれのニーズに応じた個別支援計画を策定します。 安心できる環境の提供 子どもが自信を持って自己表現できるよう、構造化された環境の中で支援の提供を行います。 コミュニケーションの強化 子どもが気持ちや考えを表現できるよう、言語的および絵カード等を使った非言語的なコミュニケーション方法を活用し、その子に合わせた支援の提供を行います。 肯定的なフィードバック 子どもの成功や努力を認め、具体的かつ肯定的なフィードバックを行うことで自己肯定感を育てます。 家族との連携 家族との密接な連携を図り、家族と事業所が同じ方向性を持って支援の提供が行えるよう、保護者との定期的な相談を通して子どもを総合的に支援します。 遊びを通じた学び 遊びの活動を通して子どもたちの好奇心を引き出し、学びを楽しい経験に繋げていきます。 								
営業時間		支援提供時間	14 時	00 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※原則、事業所へお迎えをお願いしています。お迎えの際に保護者様と日常の様子など情報共有できる場所と考えております。
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や生活リズムの把握。 基本的な生活スキルの獲得のために、身の回りのことを自分でできるよう支援を行う。 時間・空間がお子様にわかりやすいように、構造化等により生活環境を整える。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの運動発達・感覚を向上させるための個別のプログラムを考え取り組んでいく。 一人ひとりの目的に対し、多方面からの多様なアプローチを試みる。 一人ひとりに合わせた感覚特性への対応（環境・精神・身体）。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、お子様が安心して、見通しをもって行動ができるよう、一人ひとりのペースに合わせて支援を行う。 感覚や認知機能の発達を促し、情報を適切に活用できるよう支援を行う。 個々に合わせた認知の偏りへ配慮をしながら、判断力や行動調整など適切な行動獲得に向けて支援を行う。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや要求を必要に応じて、ツールを用いて相手に発信・応答できるよう支援を行う。 集団活動（ルールのある遊び等）を通して、人との関わり方を学ぶことができるよう支援を行う。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 「話す」「聞く」等の様々なコミュニケーションを通して、周囲の人と安心して関わり合えることができるよう支援を行う。 一人ひとりの発達に合わせて、個別活動から小集団へ段階を踏んで集団活動参加への支援を行う。 ルールや順番、自己理解、他者理解等、社会生活に適応するために必要なスキルの獲得に向けて支援を行う。 								
家族支援		ご家族からお子様のご家庭での様子や心配について話を伺い、家庭でも実践できるような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考える。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校等と連携 移行支援会議・カンファレンスへの参加 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校等との情報共有 各関係機関と必要に応じて連携を図り、ライフステージに応じた切れ目のない支援を継続的に提供する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内職員研修 外部講師による定期支援（PT・OT・STからの定期・随時研修） 法人内各研修 県や自治体による外部研修 			
主な行事等		交通安全指導・火災・洪水避難訓練・お出かけ（長期休暇中）・クッキング・野外活動（市民球場や公園）								